

動物用ワクチン-バイオ医薬品研究会
2023 年度シンポジウム

「牛伝染性リンパ腫研究の最前線 -基礎と応用から考える未来-」

開催日時：2023 年 5 月 19 日（金）13:30～17:30
開催形式：対面及び web 配信のハイブリット形式
対面会場：エッサム神田ホール 2 号館 3 階大会議室
〒101-0047
東京都千代田区内神田 3-24-5
TEL:03-3254-8787
参加費：正会員、学生会員、賛助会員：無料、
非会員：2,000 円、非会員学生：1,000 円
申 込：申し込みは締め切りました。

最新情報は動物用ワクチン-バイオ医薬品研究会ウェブサイト (<http://www.jsavbr.jp/>)
をご確認ください。

企画の趣旨：

届出伝染病の一つである牛伝染性リンパ腫（EBL）は牛伝染性リンパ腫ウイルス（BLV）の感染を原因とする疾病であり、その発生数は年々増加傾向にある。現在、BLV に対する有効なワクチンは開発されておらず、また、EBL 発症への治療法もない。EBL の制御には、BLV の病原性と EBL の発症機序の解明、それらの知見に基づくワクチン開発、また、感染牛を早期に摘発する手法や個体間のウイルス伝播を遮断する手段の確立など、総合的対策が必要になる。

今回は、新たな視点から EBL 研究に精力的に取り組んでいる先生方に、最先端の研究成果と今後の EBL の研究展望について紹介して頂きたく、本シンポジウムを企画した。

プログラム：

- ・ 13:30 - 14:15 「EBL の疾患感受性とそれを考慮したワクチン開発」
間 陽子先生（東京大）
- ・ 14:15 - 14:45 「警戒すべき BLV 変異株の解析」
村上裕信先生（麻布大）
- ・ 14:45 - 15:15 「BLV ゲノムのアンチセンス鎖から発現する RNA の解析」
安藤清彦先生（農研機構・動衛研）

休憩（15:15 - 15:30）

- ・ 15:30 - 16:00 「BLV-capture-seq による BLV 全長配列、組込部位および宿主 SNP の同時解析について」
小林朋子先生（東京農大）
 - ・ 16:00 - 16:30 「新規 BLV クローナリティ解析技術を用いた EBL 発症予測法の開発」
岡川朋弘先生（北大）
 - ・ 16:30 - 17:00 「生乳中の EBL バイオマーカー分子の探索」
猪島康雄先生（岐阜大）
 - ・ 17:00 - 17:30 「BoLA-DRB3 遺伝子型解析と BLV 病原性分類を用いた EBL 若齢発症低減への対策」
藤井勇紀先生（茨城県）
- ・当日は、同会場で 13 時から 13 時 20 分の予定で動物用ワクチン-バイオ医薬品研究会の定時総会を開催いたしますので、会員の方はご出席ください。
- ・また、シンポジウム終了後に情報交換会（会費制）を予定しています。